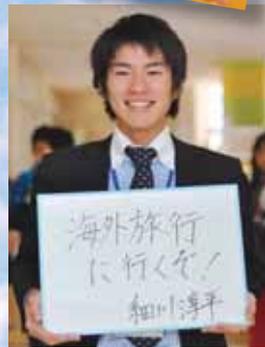
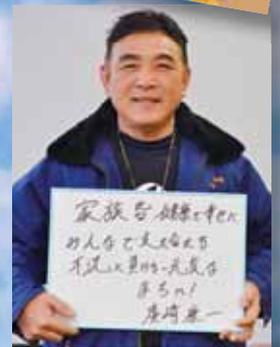


# 広報くじ

謹賀新年

1  
2011  
月1日号  
No.116

## 2011年も笑顔広がる良い年に！



明けまして  
おめでとう  
ございませう！



# 高校生が描く

# まちの未来

新年明けましておめでとうございます。3月6日で新久慈市が誕生して5周年。「人輝き、活力みなぎる久慈市」の実現に向けて、さらに歩みを進めます。今年の新春座談会のテーマは「まちの未来」です。将来の久慈市を担う高校生に、夢や希望、久慈市への期待などを存分に語っていただきました。(5ページまで・本文中敬称略)

きたいと思っています。

■馬内 市内の介護福祉施設から内定をいただきました。2年生から実習や久慈拓陽支援学校のボランティア活動に取り組み、「人の役に立ちたい」という思いがさらに深まりました。多くを学び、自分を向上させる良い経験になったと思っています。

■下館 仲間と一緒に「イカ短バグ(イカと短角牛を使ったハンバグ)」の開発に取り組んできました。1社だけですが販売もさせていただけでなく、完成に近づけられたと思っています。

進路は関東の鮮魚販売会社から内定をいただきました。学校で学んだことを生かして頑張りたいと思います。



## まちを国際化 もつと交流を深めたい

●こだ・たかし●久慈高2年。夏井中出身。昨年の春季高校野球県大会ではベンチ入りし優勝を経験。文武両道で英語にも意欲

### 励む活動

■市長 しっかりと目標を掲げて頑張ってきた様子が伝わります、うれしく思います。

小田くんは国際交流や国際化に関心があるようですが、関心を持つようになったきっかけは、どんなところですか。

■小田 中学3年の時に出場した英語弁論大会がきっかけで、英語のおもしろさを感じ、まちの国際化にも興味を持つようになりました。今も勉強していますが、ALTから本場の英語を聞くと、授業を受けるだけでは、まだまだ勉強が足りないと感じています。もっと外国の方と交流をし、広い範囲での勉強がしたいと思っています。

■市長 久慈市としても中高生海外派遣事業など、これからも交流を続けていきたいと思っています。

昨年、フランクリン市を訪れた際、アメリカの学生たちが積極的にボランティア活動に取り組み姿を見て、日本の子どもたちも頑張っているなど同時に感じました。新里

### 対談者



山内隆文 市長



小田 嵩くん (久慈高2年)



新里祥子さん (久慈高2年)



馬内 茜さん (久慈東高3年)



下館 情くん (久慈東高3年)

### 注ぐ熱意

■市長 新年あけましておめでとうございます。3月6日で新久慈市の誕生から5周年を迎えます。これまで「人輝き、活力みなぎる久慈市」の実現に向けて、市民の皆さんと協働しながら取り組みを進めて参りました。5周年の節目を契機とし、より一層、市の発展を目指して参りたいと決意を新たにいたしました。さて本日は、将来の久慈市を担う高校生の皆さんにお集まりいただきました。皆さんが抱く夢や希望と、久慈市に期待することなどをうかがい

ながら、一緒に久慈市の未来を描いていきたいと思っています。将来を担う皆さんの頑張りはまちに元気を与えてくれます。皆さんは今どんなことに熱意を注いでいるのでしょうか。まずは活動や志望する進路についてお聞かせください。

■小田 野球部に所属し、今は春に向けて練習を頑張っています。英語に興味があるので国公立大学の国際関係の学部に進みたいと思っています。

■新里 ヤングボランティアSEEDのリーダーとして市街地活性化に向けて商店街の方々と一緒に活動しています。将来は国公立大学に進学し、久慈市で福祉関係の仕事につ

## 活動で感じる達成感 市街地を活性化したい



●にいさと・しょうこ●久慈高2年。久慈中出身。ヤングボランティアSEEDのリーダーとして活動中。将来は福祉の職を目指す

さんがヤンボラを始めたきっかけや、やりがいを感じるのとはどんなところですか。

■新里 友達に誘われたのがきっかけです。ヤンボラが市街地でイベントを開くときは、商店街の方々と意見交換をします。高校生と大人で視点の違いを感じますが、多くの意見があってこそ充実した活動ができると思います。

去年より良いものを、商店街をどうにかしたいという気持ちがあるから、準備なども苦にはなりません。力を合わせ、大きなイベントがつけられたときは達成感を感じます。

■市長 商店街の方たちには、厳しい状況ですが、高校生から元気をもらって頑張ろうと話しています。今後「こんな

ことをやったら商店街に行きやすくなる」などの提言もしていければ、さらによい関係が築けるかもしれません。

馬内さんは介護、高齢者福祉の道を歩み始めるのですね。これまでの実習の際、どんなことを感じながら取り組んできたのですか。

■馬内 人の役にたつ仕事を選みたいと思い、介護の道を選びました。人と接することは簡単ではありませんが、難しい分「ありがとう」といわれると、うれしい気持ちでいっぱいになります。介護が一番必要なのは思いやりの心だと考えています。また施設を利用される方との信頼関係も大切です。この2つの大切さを実習では実感しました。

# 思いやりの心で 福祉が充実したまちに



●まうち・あかね ●久慈東高3年。宇部中出身。実習等を重ね、進路は市内の介護福祉施設に内定。議長として生徒会でも活躍

■市長 大変さよりも、やりとげたときの喜びを強く感じているようですね。大変なお仕事だと思いますが、前向きな気持ちでがんばっています。

わたしは一人の輝きがなければ、地域の輝きもない。地域の輝きがなければ市全体の輝きもない」と考え、一人一人が輝くまちをつくっていききたいと思っています。そのためには福祉やボランティアも充実していかなければなりませんし、経済も活性化していかなければなりません。企業誘致や既存企業の支援もですが、何より大事なのは地元企業の頑張り。新しい視点で地元を見れば、まだまだ生かせる資源もあると感じています。下館くんが仲間とともに開

発した「イカ短バグ」も新しい視点の一つですね。取り組みのきっかけや、苦労したことなどを教えてください。

■下館 イカ短バグは、先輩方が旧久慈市と旧山形村の合併を記念して開発に取り組んだもので、先輩の代で、だいたい完成はしていました。ただ販売はできていなかった。ただ販売はできていなかった。わたしたちが商品化に向けて取り組みました。幅広い年代に食べてもらえるように味を調整したり、専門家など多くの方から意見をいただき、それを生かすことが大変でした。無事に販売することができて、うれしく思っています。■市長 作ることはできたとしても、人に買ってもらうことは難しい。消費者を見据え

た商品づくりが大切なんですね。久慈市の特産である短角牛とイカを結びつけた点も素晴らしいと思います。新鮮な取り組みは、地域全体の活力を引き出すものです。これからも取り組んだ気持ち忘れずに頑張ってください。

## 描く未来

■市長 皆さんが目標を見据えて、さまざまな活動に取り組んでいることを頼もしく思います。それでは皆さんが描く将来や、久慈市の未来をどんなふうにしたいと考えているのか教えてください。

■小田 これからの社会では国際交流の必要性が増すと思います。今は久慈市で外国人を見ることが少なく、なかなかコミュニケーションをとることができません。もつと英語などに触れる機会を増やし、外国の方でも、普段と変わらずに接することができるよう久慈市になってほしいです。■市長 国際化は、外国のことだけでなく、日本や日本人とは何かを学ぶことにもなると思っています。違いだけで

なく共通点を見出すことも必要ですよ。わたし自身、会話もですが、文化を知り合うことも大切だと思います。■新里 昨年、修学旅行先の京都では、たくさんの方が歩いていました。久慈市のまちも人に歩いてほしいですし、そんなまちをつくっていききたいです。また、寝たきりの方にも四季を感じてもらえる環境づくりなど、将来は高齢者福祉の仕事につきまいる福祉を目指したいと思っています。■市長 どんなに頑張っても、行政だけでは限界があります。それを埋められるのが市民の力だと思っています。市民の皆さんと力を合わせれば、商店街も福祉も充実し、もつと素晴らしいまちになりますね。



イカ短バグ

2個入り525円。やませ土風館・産直まちなか（☎53-1300）で販売中。ぜひご賞味ください



## まだまだ資源はある 外に発信し盛り上げを

●しもだて・まこと ●久慈東高3年。山形中出身。イカ短バグ開発メンバー。海洋系高校生徒研究発表東北大会では優秀賞を獲得

げ、磨き上げるものです。若い人たちは新鮮な考えがありますし、自由な発想があります。まずはやってみようという行動力が、次の展開につながっていくと思います。皆さんの発想や考え方を市政にもぜひ生かしたいと思えます。発想を行動に移すことは難しいことですが、皆さんは実際に行動してきました。わたしも、自分の夢でもある若い人たちが活躍できる久慈市の実現に向けて頑張りたいと思っています。

## 新年抱負

■市長 それでは最後に、対談しての感想や新年の抱負、そのほか久慈市に期待する取り組みなどがあれば、お聞かせください。

■小田 進路達成に向けて文武両道を目指します。昨年は、先輩が春季県大会優勝を成し遂げました。大変なことですが、先輩を追い越せるように頑張ります。また海外との交換留学生の実施について考えてほしいと思います。■新里 久慈市や市街地の活

# "価値"をつくる発想と行動力 若い人も活躍できる久慈市に



■馬内 良い介護福祉士になれるよう常日ごろから努力していきたいです。みんなが思いやりの心を持ち、ユニバーサルデザインやバリアフリーの推進を図って、今よりもっと福祉が充実したまちになっていけばいいなと思います。■市長 みんなで助け合うことが福祉の原点だと考えています。仕事だからではなく、馬内さんのように素直にお手伝いをしたいと思う人が増えていけばうれしそうですね。■下館 旧久慈、旧山形が一緒にあった久慈市には、もつと良い資源があると思います。その資源を生かしてほしいです。そして、その魅力を市外にも発信し、多くの人に久慈市を訪れてもらうことで、他の企業も地域も盛り上がっていくと思います。■市長 そうですね。価値あるものは自分たちでつくり上

性化について改めて考えることができ、本当に良い機会になりました。高齢者も息抜きができるような、温泉や自然など今ある資源を生かした福祉施設の整備を考えてほしいです。

■馬内 4月からは就職で新しい環境になりますが、今まで学んできたことを生かし、良い介護福祉士を目指して頑張ります。今日は、とても良い経験になりました。ありがとうございました。■下館 自分以外の取り組みの話聞くことができ、とても勉強になりました。4月からは就職先で一生懸命頑張ります。これからも久慈市の良いものをたくさん見つけて、多くの人に知ってもらいたいと思います。

■市長 社会人として新たな道を歩んだり、学年が変わることによって、また新たな発想が出てくるかもしれませんね。そのときはぜひまた皆さんの考えを教えてください。皆さんのさらなる活躍を心から祈って、新春座談会を閉じたいと思います。ありがとうございました。





# 岩手読書感想文

## 小野寺夏海さん 岩手で最優秀

12月11日、第43回岩手読書感想文コンクールで小野寺夏海さん（久慈高2年）が高校の部・最優秀賞に輝きました。

「芙蓉千里（須賀しのぶ著・角川書店）」から、人生の選択と決断の大切さを読み取った小野寺さんは「本は自分の世界や幅を広げてくれます。この本も忘れられない1冊になりました。これからも本を読み続けます」と喜んでいました。



### 市読書感想文表彰式

12月5日、第5回市読書感想文コンクール表彰式が市立図書館で開催。受賞者は次のとおりです。（敬称略。各部門①は最優秀賞、②は優秀賞、③は奨励賞）

- 小学校低学年…①女供明日香（小国小2年）②田高悠里（長内小2年）③嶋守夢佳（久慈湊小1年）
- 小学校中学年…①大矢内陽菜（大川目小3年）②清水楓斗（山形小4年）③畑中佳南（待浜小4年）
- 小学校高学年…①小倉環（小久慈小6年）②川端千春（平山小6年）③尾無末侑（長内小5年）
- 中学校…①障子上甲斐（山根中1年）②菅原悠希（待浜中3年）③伊川尚希（三崎中2年）
- 高校…①城内美美（久慈高1年）②久慈彩佳（同2年）③中村尋人（久慈東高2年）



## 中野三郎さん

中央・90歳。42年間、地区衛生班、市連合会役員等として環境衛生活動に貢献



## 大石 繁さん

山根町・83歳。41年間、端神町内会長を務め、地域活性化と交流促進に尽力



## 岡野利雄さん

巽町・78歳。49年間、巽町町内会長として基盤整備など地域の発展に尽力

# 自治会・衛生活動で全国表彰 長年の功績光る

### 【自治会活動功労】

巽町町内会前会長の岡野利雄さんと、端神町町内会前会長の岡野利雄さんが、自治会などの団体功労者として総務大臣表彰を受賞。地域の発展に力を尽くしてきた長年の功績が認められました。

12月10日、山内隆文市長から賞状の伝達を受けた岡野さんは「皆さんに協力いただき、公民館や街灯の設置など住みよい巽町をつくってこれたと信じています。ありがとうございます。大石さんは「思いがけない受賞に

### 【地区衛生活動功労】

驚き。みんなで協力しながら活動してきました。これからも地域が盛り上がりつつくれば」と願いを込めていました。

長年にわたり、環境衛生活動を進めてきた市衛生班連合会元副会長の中野三郎さんが、全国地区衛生組織連合会長表彰を受賞しました。

中野さんは「久慈市と地域の発展のため、まじめに一生懸命取り組んできました。これも一日一日の積み重ね。本当にうれしく思います」と喜びを語っていました。

### 久慈地区防火ポスターコンクール



4人が入賞した日野沢小学校

久慈地区防火ポスターコンクールで市内から5人が入賞。（下記・敬称略）県の入賞は逃しましたが、芦澤美南さん（日野沢小6年）の作品は、地区代表として県消防協会に推薦されました。

【消防長賞】皆川柊花（日野沢小1年）  
【優秀賞】皆川萌々花（同4年）ニツ神叶大（同2年）  
【努力賞】中村通希（小袖小6年）ニツ神瑠夏（日野沢小5年）

### 中学生人権作文コンテスト県大会



人を思いやる大切さをつづった入賞者

第30回全国中学生人権作文コンテスト県大会で、久慈中学校の3人が入賞。（下記・敬称略）三浦千佳さん（3年）は「相手の気持ちを考えて行動してほしい。困った人がいたら、親身になって助けてあげたいです」と思いを込めていました。

【優秀賞】三浦千佳（3年）上山司（2年）林実穂（1年） ※写真左から



### 大地を守る会と 積み重ねる交流

食の流通で日本の農業を守るうと、首都圏の消費者に安全・安心な食べ物を届けている「大地を守る会」。

昭和56年に旧山形村と短角牛の取り引きが始まり、昭和58年からは「短角牛の里と都市を結ぶ集い」が開かれ、短角牛の生産者と首都圏の消費者が交流を深めてきました。

短角牛の飼育方法だけでなく、山形の自然と生活、生産者の思いに触れる「集い」。長年、積み重ねてきた交流で「顔が見える関係」ができ、生産者と消費者は固い絆と信頼関係で結ばれています。



笑顔で賞状を掲げる下館進会長（前列中央）。左は、本市との交流を重ね、短角牛を支えてきた大地を守る会の藤田和芳会長

### PICKUP NEWS

# 短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委 絆づくり全国の 先進事例に選定

首都圏の消費者と本市生産者との交流活動を進めている「短角牛の里と都市を結ぶ集い実行委員会（下館進会長）」は12月1日、全国の先進事例に選ばれ、農林水産省から「食と地域の絆づくり」選定証が贈られました。

選定証は、食を通じた交流事業など、地域活性化を図る優れた取り組みに贈られるもの。今回は全国で23の取り組みが選ばれました。

同実行委が全国で高く評価されたポイントは、首都圏に住む消費者との交流会を開き、

短角牛の生産方法や地域の風土を伝え、短角牛への思い入れと、生産者や地域住民との絆づくりに取り組んでいること。国産飼料のみにこだわるなど、短角牛生産に熱意を注ぎ、工夫を凝らしていることも選定の決め手になりました。

昭和58年から短角牛を通じて旧山形村と交流を深めてきた「大地を守る会」の藤田和芳会長は「約30年の交流で東京の消費者と山形町には地に足がついた絆ができています。子や孫の世代まで絆をつなげていければと思います」と抱負を。下館会長は「首都圏の消費者や山形のファンが短角牛を支えてくれています。今後も山形のありのままを伝え、この良い関係をずっと続けていきたいです」と気持ちを更新にしています。

### 県木炭品評会

## 谷地 司さん

（山形町・谷地林業）

## 三連覇達成



県木炭品評会褒章授与式は11月13日、盛岡市で開催。黒炭炭の部で谷地司さん（山形町・谷地林業）が最優秀賞を獲得し、見事、三連覇を達成しました。

谷地さんは「周囲の叱咤激励が力に。1年ごとに実感とうれしさが増えています」と笑顔。「満足したらだめ。まだまだ研究の余地があります。周りから多くを吸収し、より良いものを出し続けたいです」と意気込んでいました。

## 看護師

**採用予定** 看護師2人  
**受験資格** 昭和45年4月2日以降に生まれた方で、看護師の資格を有する方（3月までの取得見込み含む）

**【試験日時・会場】**  
 ▶1次試験…1月30日（日）10時～・市役所  
 ▶2次試験…1次試験合格者に通知します  
**【試験方法】**  
 ▶1次試験…教養・専門・作文試験、事務適性検査  
 ▶2次試験…人物試験、健康診査

**【応募方法】**  
 申込用紙は総務課で配布。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して120円切手をはった返信用封筒（A4判）を同封。

**【申込期限】**  
 1月12日（水）。郵送の場合は同日の消印有効です。  
**総務課 ☎52-2112**  
 〒028-8030  
 久慈市川崎町1-1

## 水道管凍結に注意

**【水抜きは全開・全閉で】**  
 水道管は、気温がマイナス4℃以下になると凍結し、破裂する恐れがあります。冬季は不凍栓と水抜き栓の水抜きを行い、凍結と破裂を防ぎましょう。 ※水抜き操作は「全開・全閉」できちんといましょ

**【解凍できない場合は】**  
 もし水道管が凍結し、ご自身で解凍できない場合は、市指定給水装置工事業者に依頼ください。ただし解凍に要する費用はお客様の負担となります。

**水道事業所 ☎52-2189**

平成23年度の  
申し込みだよ！



## 保育所の入所申し込み

園子育て支援課 ☎52-2169

**▼受付期間**  
 1月5日（水）～21日（金）

**▼申込先**  
 入所第1希望の保育園 ※市外の保育園への入所希望の方は、子育て支援課に申し込みください

**▼提出書類**  
 ①入所申込書  
 ②就労証明書 など

**▼面接日時**  
 1月31日（月）～2月4日（金）9時～17時  
 ※1月31日は18時30分まで

**▼面接会場**  
 子育て支援課

**▼受付期間**  
 1月5日（水）～21日（金）

**▼申込先**  
 入所第1希望の保育園 ※市外の保育園への入所希望の方は、子育て支援課に申し込みください

**▼提出書類**  
 ①入所申込書  
 ②就労証明書 など

**▼面接日時**  
 1月31日（月）～2月4日（金）9時～17時  
 ※1月31日は18時30分まで

**▼面接会場**  
 子育て支援課

## 日本脳炎予防接種の特例

保健推進課 ☎61-3315

**9～12歳への特例**  
 平成17年5月30日から接種を差し控えていた日本脳炎の予防接種は、新しいワクチンとなつて平成22年6月から順次、再開されました。

左表のとおり、予防接種の対象と回数は決められていますが、平成17年の接種中止に伴い、第1期の予防接種が受けられなかった次の子どもは、特例で第1期不足分の接種を受けることができます。（自己負担はありません）

**▼接種可能回数**  
 第1期3回のうち不足分

**▼接種可能期間**  
 当分の間（期限未定）

**▼2期接種は完了後**  
 第2期の予防接種は、第1期3回の接種を完了した「9歳～12歳」の子どもが受けることができます。接種を希望する場合は、保健推進課までご連絡ください。

**日本脳炎予防接種の規定**

	対象	回数
第1期	6カ月～7歳5カ月	3回
第2期	9歳～12歳	1回

※対象外の7歳6カ月～9歳未満の子どもが予防接種を受けようとする場合は自己負担になります。ご注意ください

三船十段記念館スポ少が東北大会3部門入賞

## 小・中男女 東北の舞台で大活躍



**準決勝以上の戦績**

- 小学生男子・第3位  
準決勝×0-3 鶴田町柔道スポ少（青森）
- 小学生女子・準優勝  
準決勝○2-1 北上修練館柔道スポ少（岩手）  
決勝×1-1【内容】大崎柔道クラブ（宮城）
- 中学生男子・準優勝  
準決勝○3-1 郡山市柔道会少年部（福島）  
決勝×1-3 御野場柔道教室（秋田）

東北6県の代表チームが力と技を競う第30回スポーツ少年団東北ブロック柔道交流大会は11月28日、盛岡市で開かれました。三船十段記念館柔道スポーツ少年団（山下豊弘代表）は全4部門に出場し、小学生男子の部で第3位、小学生女子の部と中学生男子の部で準優勝。惜しくも優勝は逃しましたが、小学生、中学生の男女ともに東北の舞台で大活躍しました。

同大会は、はじめに2つのブロックに分かれて予選3試合を行い、各ブロック上位2チームが準決勝に進む仕組み。県予選では圧倒的な力をみせつけた同少年団ですが、他県の代表チームに比べると小柄で、苦戦も強いられました。しかし気持ち一つに相手に向かい、3部門で予選を突破。小学生女子の部決勝では、宮城県代表の大崎柔道クラブに競り負けるも1対1（内容差）の接戦を展開しました。小学生女子チームのポイントゲッターとして活躍した三浦七海さん（久慈小6年）は「準決勝では県予選で負けた相手に勝ったので、何とか優勝したかったです。2月は小学生最後の県大会。頑張つて優勝したいです」と力強く前を向いていました。

今後の県立高校に関する地域別懇談会

## 高校配置 住民の意見熱く



資料を基に状況を説明した上田課長（左）

おおむね10年後を見据えた県立高校の配置計画を盛り込んだ「第二次高等学校整備計画」の策定に向けて、県教育委員会と住民が意見を交わす「第2回今後の県立高校に関する地域別懇談会」は12月9日、合同庁舎で開催。管内から約30人が集まりました。はじめに上田幹也高校改革課長が、生徒数の減少や、小規模校の長所や課題などについて資料を説明し、「望ましいのは1校4から6学級。ただ、それ以下の高校をすべて統合するわけはありません。国の法律を基準としながら、県内の状況と皆さんの声も取り入れ、計画案を考えていきます」と理解を求めました。意見交換では「学校は地域



入念に配布資料に目を通す参加者

活性化の核。将来も残してほしい」「統合すれば保護者の経済的負担も心配」「地域の産業や経済状況なども考えて」など、高校統合を不安視する熱のこもった意見が参加者から寄せられました。

最後に佐々木修一学校教育室長は「地域の実情など、貴重な意見をいただきました。ぜひ今後の計画策定の参考にさせていただきます」と、あいさつしました。

同計画は来年度に案を提示。秋ころの策定を目指して、再度、地域別の懇談会などで広く意見を聞く予定です。1月中は出前懇談会も開催中。詳しくはお問い合わせください。

**県教委学校教育室**  
 ☎019-629-6205



広報リポーターの突撃取材!



地域活性化のため、語り合った両協議会

交流深めて  
まちづくり

12月11日、結成3年目の小久慈町まちづくり協議会(水上貴一会長)が大川目町まちづくり協議会(外館孝会長)を訪問し、活動の現状や課題について意見交換。懇親会では地域おこしや後継者について語り合い、交流を深めました。(小倉利之リポーター)



なれない手つきで、作業に挑戦する児童

皆で育てた  
ソバで体験

夏井小学校(多田功一校長・児童33人)の5・6年生13人は11月30日、そば打ちを体験。7月から大事に育てたソバを地域住民の指導の下、こね、のびし、切り分けました。体験後は、でき立てそばを皆でおいしくいただきました。(梅沢政隆リポーター)

ばあちゃん いがったねえ

中田ハツエさんが100歳

12月7日、中田ハツエさん(夏井町)が100歳を迎え、山内隆文市長から長寿祝い贈られました。

山内市長が「おめでとうございます。これからも長生きしてくださいね」と祝福すると、家族も「ばあちゃん、いがったねえ」と温かい笑顔を広げ、ハツエさんと一緒に喜んでいました。

長男の克己さんは「母には感謝でいっぱい。介護するのは自分たちの役目です。1つでも2つでも長生きしてほしいですね」と優しく話していました。

出稼ぎの夫に代わって家を守り、畑仕事に精を出したハツエさん。子どもを6人もうけ、孫14人、ひ孫25人。家族に温かく見守られて生活しています。



100歳を迎えた中田ハツエさん(中央)

神楽の魅力 のめり込む

県民俗芸能大会に800人

県民俗芸能大会・第63回岩手郷土芸能祭は12月12日、「神楽の魅力」をテーマにアンバーホールで開催。国連教育科学文化機関(ユネスコ)無形民俗文化遺産に登録されている早池峰神楽の大償神楽(花巻市)や本市の夏井大梵天神楽、山根神楽など計5団体が出演し、見事な舞で800人の観客を魅了しました。

はじめに県教育委員会の中村英俊文化財・世界遺産担当課長が「岩手は民俗芸能の宝庫。岩手の風土で育まれた神楽の魅力を存分に味わってください」とあいさつ。出演団体への感謝状贈呈後、演目がスタートしました。

笛や太鼓、鐘の心地よい音色とともに、次々と披露される神楽に観客は夢中。演目が終わるたびに会場は大きな拍手で包まれました。

最前列で鑑賞した伊藤定男さん(山根町)は「どの出演団体も迫力あって見ごたえ十分。人の動きや表情は、地元の山根神楽が一番ですかね」とニコリ。すっかり神楽の魅力にのめり込んでいました。



- 1/先頭を切って夏井大梵天神楽は権現舞を披露
- 2/人が回転。力技で会場を沸かせた土沢神楽
- 3/山根神楽の迫力の舞
- 4/注目集めた大償神楽
- 5/会場に響いた鐘の音



海の幸求めて大行列!

今期最後の二子朝市

今期最後の二子朝市(二子漁業生産部主催)は12月19日、二子漁業生産部加工場で開催。絶品の海の幸を買い求めるお客さんが多数訪れ、大行列ができました。

市には新巻サケやイクラ、ナマコなどがずらり。特にアワビには開店と同時に人が殺到し、追加販売になるほどの盛況ぶりでした。



行列ができ、活気にあふれる二子朝市



耳からハンカチを出す手品に会場は大爆笑

心のプレゼントに笑顔

三崎中が元気の泉訪問

三崎中学校(川村孝一校長・生徒52人)は12月2日、元気の泉を訪問。「ちょっと早めのクリスマスプレゼント」と題し、デイサービスの利用者19人に合奏や合唱、手品などを披露しました。

生徒たちの心のこもったプレゼントに利用者は大喜び。笑顔で大きな拍手を送っていました。

国体成功の祈り込め

ソロプチから寄付金

国際ソロプチミスト久慈(寺下和江会長)は11月30日、平成28年に本市で開催予定の国民体育大会柔道競技に役立てると、市に3万円を寄付。寺下会長は「市民こそって選手を迎えられる国体になれば」と成功を祈っていました。

同団体は12月1日、福祉関係2団体にも計15万円寄付しました。



山内隆文市長に寄付金を手渡す寺下会長(右)

遊休農地から活性化を

市農委がそば収穫

市農業委員会(荒澤光一会長)は本年度の遊休農地解消事業として山形町にソバを作付けし、約20畝から約60kgを収穫。11月25日、そば試食会を開きました。

そばの味は好評。同事業の出町丈夫実行委員長は「今後は作るだけでなく販路も考え、活性化につなげたい」と意気込んでいました。



大好評。各委員も納得のそばの味



短角牛のビーフシチューをほおぼる児童

食べて学んで輝く目

短角牛給食

地産地消ふれあい給食の日(短角牛)は11月24日、市内小・中学校で行われ、児童が短角牛のおいしさと生産者の努力を学びました。

長内小学校の3年生は給食前に短角牛について学習。伊藤大輝くんは「どのお肉よりおいしい!すごい牛が久慈にあって、うれしいです!」と目を輝かせていました。

市の保健師や栄養士が、健康に関する情報をお届けするコーナーです。皆さんの元気と健康づくりにお役立てください。

## 子育て支援センターだより

- 1月の予定 ■
- ◎ 1/12(水) みずき団子作り(要申込) 10:30~12:00
  - ◎ 1/13(木) うさこちゃんの部屋 11:00~
  - ◎ 1/14(金) あそびの教室 10:00~
  - ◎ 1/19(水) 絵本の読み聞かせ 10:30~11:00
  - 赤ちゃんサロン 13:30~15:30
- ※盛岡市の助産師が、おっぱいケアのお話のほか、さまざまな悩みの相談にのります
- ◎ 1/21(金) アロマセラピー(スプレー作り) ※参加費200円・先着10人(託児あり) 10:30~11:30
  - ◎ 1/24(月) 園庭開放・小久慈保育園 10:00~11:30
  - ◎ 1/26(水) ひよこ教室 10:00~14:00
  - ◎ 1/28(金) あそびの教室 10:00~

### ■利用案内(☎52-3210)■

- 対象…就学前の児童とその保護者 ●利用時間…月~金曜日8時30分~17時(土曜日は8時30分~13時30分) ●お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日 ●利用料…無料

## 図書館だより

### 1月のオススメ図書

#### 《市立図書館》



「うさぎちゃんともだちできた」  
きむらゆういち/作  
ポプラ社  
12支の動物たちが通っている「12支園」。ボール遊びが大好きなうさぎちゃんは「ボールがあれば、ほかにお友達なんていない」なんて言います。皆さんはどう思いますか？

#### 《山形図書館》



「雪の結晶ノート」  
マーク・カッシーノ、ジョン・ネルソン/作  
あすなる書房  
一つとして同じ形のものはないと言われる雪の結晶。小さな雪の結晶は、なぜ美しく複雑な形をしているのでしょうか。雪の季節。この本を持って観察してみたいかがでしょうか。

■休館日…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日も休館) ※1/4(火)から開館

#### 《市立図書館 ☎53-4605》

- 開館…9~18時(土日は17時まで)
- 図書館えいがかい…「がんばれスイミー」「梨山の太蛇」などを上映 1/8(土)①10:00~②15:00~
- チピッコの部屋…①1/8(土)②22(土)14:00~
- 冬休みおすすめ本展…冬休みの課題に役立つ本などを展示・貸し出し 開催中~1/23(日)

#### 《山形図書館 ☎72-3711》

- 開館…10~18時
- えとの図書展…平成23年のえと「ウサギ」に関する本を展示・貸し出し 1/7(金)~26(水)

## 元気応援だより



奥寺郁子保健師

### 育児や生活、いつでも相談

母子の健康と成長サポートします！

☎保健推進課 ☎61-3315

市では、保健師や看護師がご家庭を訪問して、お母さんや赤ちゃんの健康状態を確認したり、育児や子育て生活についての相談にのっています。赤ちゃんと一緒に生活する中では、慣れないことや分からないことがたくさん出てくると思います。そんな心配事についてもお答えします。ほかに赤ちゃんの体重測定、予防接種、乳幼児相談・健診などの内容説明や、子育てに役立つ情報なども紹介しています。きょうだいのこと

についても相談にのりますので、気軽にお話しください。母子ともに健やかに成長できるように、訪問以外の乳幼児相談や健診でも、保健師や看護師がサポートしていきます。わたしたちは、地域で楽しく子育てができ、家族がともにいきいきと暮らせるためのお手伝いができればと考えています。電話でも結構です。育児のこと、子どもさんのことで気になることがありましたら、いつでも気軽に相談ください。

## 仲間のWA!



ハワイ音楽に合わせて踊ると爽快♪

おしゃれし踊ってリフレッシュ!

フラ・レイ・モンステラ久慈  
(細谷地芳子代表・40人)

フラ・レイ・モンステラ久慈では、30代から80代の会員がフラダンスを楽しみ、心と体をリフレッシュしています。「おしゃれをし、普段の自分から変身してダンスにのめり込めるので、嫌なことも忘れられますよ」と笑顔を広げる穂高きみ子さん(川貫)。

活動は毎週水曜日にアンバーホールで。昼の部は13時30分から、夜の部は18時30分からです。皆さんも気分転換にいかがですか。☎アンバーホール ☎52-2700

市内で元気に活動している団体やサークルなどを紹介するコーナーです。皆さんも活動に参加して仲間の輪を広げませんか？

## 楽しみながらが肝心 食を通して地域の つながり強めたい



### 食文化の伝承役に

市食生活改善推進員として、郷土料理や食の大切さを伝え広めている田中和子さん(待浜町)。11月18日、郷土料理「小豆ばっとう」の伝承役として、岩手県から食の匠に認定されました。

「地元の食文化を伝えていくのは大切なことです。不安もありましたが、挑戦しようと思い、引き受けました」。

若いころから料理好きだったという田中さん。料理が得意だったお母さんの影響もあり、食への関心と料理の技術は、生活の中で自然に高まってきました。

旧国民宿舎北限閣に勤めた



岩手県食の匠に認定された  
田中和子さん  
(待浜町・68歳)

実際に調理師免許を取得。平成7年から同推進員となり、小・中学校や公民館の料理教室で講師を務めてきました。

「人とふれあうのが大好きなので、料理を教えるのは全然苦になりません。活動で一番うれいのは教えた相手に喜んでもらえたときですね」。

いつも笑顔で務める講師役。田中さんは、食を通して生まれるふれあいを心から楽しんでます。

### 食からつながりを

市内各地区で開かれている高齢者の交流の場「ふれあいサロン」。田中さんは、地元のサロン・横沼たんぽぽの会の代表として、地域の声掛け役も務めています。

「大変だと思えば続きませ

ん。楽しみながらやるのが肝心です。月に1度のサロンは、わたしも楽しみ。年を取った人だけでなく、若い人や子どもまで集まってくれます。同じ地域に住むもの同士、みんなで楽しくやっていきたいですね」。

地域のつながりを大切にする田中さんは、若い人との交流にも積極的です。

「もつともつと若い人に近づいて、昔ながらの食の良さを伝えたいです。わたしも今風の料理を勉強し、食を通じて地域のつながりを強めていきたいです」。

意欲満々に抱負を語る表情は生き生き。楽しさを力に変え、田中さんは、食の伝承と地域のつながりづくりに励み続けます。



県知事からの「食の匠」認定証。  
田中さんは市内8人目の匠です

### Profile

たなか・かずこ/待浜中学校卒業後、田んぼや畑、畜産など農業に励む。待浜町婦人団体連絡協議会会長、市漁協婦人部待浜支部長などを歴任し、地域をけん引。長男夫婦と娘、孫2人の6人暮らし。趣味は踊り。

## まいくじらいふ MY★KUJI LIFE



エリカ・ワードさん

### 異言語、異文化、異GS…

今、わたしは日常生活の細かい点でカルチャーショックを感じています。ガソリンスタンド(GS)が一つの例。アメリカではGSがキャンペーンをすることはありません。先日、給油しただけ

でティッシュをもらってビックリ!日本の車は、車内のボタンを押して給油口を開けることも驚きました。何と!車内をふくタオルを渡されたとき、何用か悩んだ末に顔をふいた友達もいるんですよ!日本の生活は毎日が勉強ですが、異言語、異文化より異GSの方が謎ですね…。

市内の小・中学校で英語を教えている市の英語指導助手の皆さんが、久慈市で生活して感じたことなどを紹介するコーナーです。



# 良い年になりますように—

家族みんなの安全と健康を祈りながら、丁寧な手つきで作業を進める参加者の皆さん



## 白樺大学・しめ縄講習会

# 新年に願い込め

高齢者講座・白樺大学の河南地区学級「しめ縄講習会」は12月17日、総合福祉センターで開かれました。

約40人が参加し、家内安全と交通安全の2種類のしめ縄を制作。しめ縄は、わらを束にして編むことから始める本格的な手作りで、多くの参加者が試行錯誤していました。しかし難しい分、「こりやあどうすんだっけ」と自然に会話がはずみ、会場はにぎやか。皆、新年に願いを込めながら笑顔で作業を進めていました。

講師を務めた沢里聡さん(宇部町)は「自分で作ると喜びが違います。手作りのしめ縄で、皆さんにも良い年を迎えてほしいですね」と、参加者全員の幸せを願っていました。



**上** 作り方を説明する講師の沢里さん  
**中** 作業の中で自然に生まれる会話と交流。皆、協力して作業を進めました  
**下** 飾りも一つ一つ丁寧に付けました

### 世界に一つ

作ることも、みんなとの交流も楽しいです。世界に一つのしめ縄が完成。良い新年が迎えられそうです。



日影野文太郎さん  
(小久慈町)

### INTERVIEW

### 真心込めて

初参加。難しかったですが、真心を込めて作りました。来年も家族みんな元気に暮らせたいですね。



田表チャヤ子さん  
(八日町)

## 編集後記

▶明けましておめでとうございます！新年らしく明るい表紙にしようと思い、今回は年男、年女の方に抱負を聞いて回りました▶うさぎ年は1/12の確立。いざ探すと意外と見つからないものですね…。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます！▶平成22年も運動、芸術、仕事や、さまざまな活動を頑張っている多くの方に出会うことができました▶皆さんの笑顔を見るたび自分も元気アップ♪皆さんに負けないう、今年も動き回りしたいと思います！▶平成23年が皆さんにとって笑顔が広がる良い年になることをお祈りします。今年も「広報くじ」をよろしく願います！（八重桜）



清水陽琉くん(7カ月)  
清水新之介さん、みほさんの三男(長内町)

### 伊東ひなたちゃん(8カ月)

伊東清勝さん、敬子さんの長女(旭町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。